

官報

號外 昭和二十一年十月七日

第九十回 衆議院議事速記録第五十三號

昭和二十一年十月六日(日曜日)

午後二時二十八分開議

議事日程 第五十二號

昭和二十一年十月六日

午後一時開議

第一 戰時補償特別措置法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第二 金融機關再整備法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第三 特別和議法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第四 大藏省預金部等損失特別處理法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第五 厚生年金保險法及び船員保險法特別案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第六 企業再整備法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第七 財産稅法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第八 財産稅等收入金特別會計法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

第九 企業整備資金措置法を廢止する等の法律案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

〔朗讀ヲ省略シタ報告〕

一、議員カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアル
水産國策樹立實施決議案
提出者
石原 圓吉君 西尾 末廣君
田中源三郎君 田原 春次君
澁谷 升次君 宮原 庄助君
夏堀源三郎君 山本 勝市君
原 拾思君 西村 久之君
林 興一郎君 馬越 晃君
加藤 一雄君 大久保次郎君
(以上十月五日提出)

一、昨五日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ
青年禁酒法案(林平馬君外十一名提出)委員
藤在 二階堂 進君 補駒 駒井 藤平君
戰時補償特別措置法案(政府提出)外
五件委員
藤在 喜多 裕治郎君 補駒 九鬼 十郎君

○議長(山崎猛君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、戰時補償特別措置法案、日程第二、金融機關再整備法案、日程第三、特別和議法案、日程第四、大藏省預金部等損失特別處理法案、日程第五、厚生年金保險法及び船員保險

法特別案、日程第六、企業再整備法案、日程第七、財産稅法案、日程第八、財産稅等收入金特別會計法案、日程第九、企業整備資金措置法を廢止する等の法律案、右九案ヲ一括シテ第一讀會の續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長本多市郎君

第一 戰時補償特別措置法案(政府提出)
第一讀會の續(委員長報告)

第二 金融機關再整備法案(政府提出)
第一讀會の續(委員長報告)

第三 特別和議法案(政府提出)
第一讀會の續(委員長報告)

第四 大藏省預金部等損失特別處理法案(政府提出)
第一讀會の續(委員長報告)

第五 厚生年金保險法及び船員保險法特別案(政府提出)
第一讀會の續(委員長報告)

報告書
一 戰時補償特別措置法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 金融機關再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 特別和議法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 大藏省預金部等損失特別處理法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 厚生年金保險法及び船員保險法特別案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 財産稅等收入金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業整備資金措置法を廢止する等の法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 財産稅等收入金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業整備資金措置法を廢止する等の法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 金融機關再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 特別和議法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 大藏省預金部等損失特別處理法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 厚生年金保險法及び船員保險法特別案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 財産稅等收入金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業整備資金措置法を廢止する等の法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業再整備法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 財産稅等收入金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

報告書
一 企業整備資金措置法を廢止する等の法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決シタ因ツテココニ報告スル
昭和二十一年十月五日
委員長 本多 市郎
衆議院議長 山崎猛殿

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

官報號外 昭和二十一年十月七日

衆議院議事速記録第五十三號 議長ノ報告

戰時補償特別措置法案外八件 第一讀會の續

在所、本年度ノ豫算ニ於テハ約三百十億圓ヲ計上シテ居ル、尙ホ明年年度以降ノ財政ニ於テハ、財産稅ニ多クヲ期待スルコトハ出來ナイノデアルガ、明年年度ニ於テハ、歳出ノ整理ガ考ヘラレルト共ニ、生産ノ増加等ヨリ歳入ノ増加モ豫想サレレド、財政ハ賄ヒ得ルト考ヘテ居ルトノ答辯ガアリマシタ、又是ト同時ニ、現在我が國ノ個人財産ノ見積總額ハ四千三百二十億圓、其ノ中一千二百八十億圓ガ課稅サレル財産價格デ、納稅者數ハ五十一萬人、其ノ中最高稅率ノ適用ヲ受ケル千五百萬圓以上ノ財産所有者ハ百人ニ過ギヌ旨ノ説明ガアリマシタ

進ンデ各論ニ關スル問題ト致シマシテハ、本委員會ニ於テ最モ熱心ニ論議ガ交サレタノハ、財産ノ評價ノ問題デアリマス、先ツ土地家屋等ノ價格ヲ算定スル場合ノ一定ノ倍數ハ、大體下ノ程度デアアルカトノ質問ガ交サレタノデアリマス、之ニ對シ政府カラ、其ノ倍數ハ市、區、郡毎ニ、取引價格ヲ基準トシテ、貸賃價格ニ對スル倍數ヲ求メルノデアツテ、各地域毎ニ、最高倍數最低倍數及ビ中間倍數ヲ、何レ權威者カラ成ル不動産評價委員會ニ諮ツテ定メル方針デアルトノ答辯ガアリマシタ、次ニ財産稅ハ第一封鎖預金デ納付スルコトガ出來ルカトノ質問ニ對シ、政府カラ第二封鎖預金ニ對スル分ノ財産稅額ハ、第二封鎖預金デ納付スルコトガ出來ルコトニナツテ居ルトノ答辯ガアリマシタ、又調査時期以後ニ取得シタ國債等ヲ、財産稅ノ納付ニ充テルコトガ出來ルカト云フ質疑ガアリマシタ、之ニ對シ政府カラ、物納財産ハ原則トシテ昭和二十一年三月三日ニ有シテ居タ財産ニ限ル方針デアアルカラ、其

ノ後取得シタ國債等ヲ物納ニ充テルコトハ、原則トシテ出來ナイト云フ答辯ガアリマシタ、尙ホ之ニ關聯シテ、如何ナル場合ニ物納ガ認めラレルカ、又物納ニ充テ得ル財産ノ順位ハドウカト云フ質問ニ對シテ、政府カラ、金錢等デ納付スルコトヲ困難トスル金額ニ付テ物納ガ認めラレルノデアツテ、財産ノ構成、稅額ノ大小等ニ依リ具體的ニ定メラルベキ問題デアルト云フ答辯ガアリマシタ、更ニ物納財産ノ順位ハ、第一ガ國債及ビ地方債デアリ、次ニ株式、社債ト不動産ハ原則トシテ同順位デ、最後ガ動産デアルト云フ答辯ガアリマシタ

次ニ特別和議法案ニ付テ、本法ニ依リ戰時利得者ノ財産隱匿行為ヲ助成スル虞ナキヤトノ質問ニ對シテ、斯カル場合ニハ、破産回避ノ目的ニ出ヅルモノトシテ、和議申出ヲ却下シテ、左様ナコトヲ防止スルコトガ出來ルト云フ答辯ガアツタノデアリマス

次ニ更生年金保險法及ビ船員保險法特別法案ハ、軍需補償打切りニ伴フ離職者ニ對スル脱退手當金ノ支給ニ付キマシテ、現行法通り一年ノ待機ノ期間ヲ強制スルト云フコトハ實狀ニ即シナイノデ、當分ノ間此ノ待機ノ期間ヲ必要トシナイ特例ヲ設ケントスルモノデアリマス (拍手)

以上ガ質疑ノ主ナル點デアリマス、五日各案ニ對スル總テノ質疑ヲ全部終了致シマシテ、引續キ討論ニ入りマシタ所、企業整備資金措置法を廢止する等の法律案ニ付キマシテ、戰災地ニ復興費ノ財源ヲ與ヘ、旁、浮動購買力ノ吸收ヲナス爲ニ、地方團體ニモ富強發行權ヲ與ヘルコトヲ適當トスル見地ヨリ、本案ニ對スル修正案ガ、社會黨ヲ

除ク各派ノ共同提案トシテ提出セラレタノデアリマス、又財産稅法案ニ對シ、本法ガ國民ノ經濟生活ニ及ボス影響ハ重大デアリ、課稅ノ適正公平ヲ期スルコトノ必要ニ鑑ミ、社會黨及ビ無所屬ノ除ク各派共同提案ノ附帶決議ガ提案サレタノデアリマス、之ヲ朗讀致シマス

附帶決議

一、本法實施に伴フ國民の犠牲に鑑み、政府は速に我が國經濟再建の根本的の方途を講ずること

一、財産稅の基準となるべき評價に付ては、飽くまで適正公平を期し、生産に必要な物件は特に考慮を拂ひ、之が減退を生ずるが如き課稅を爲さざること

一、各種委員會は民主的に構成し、全國的の均衡を失せざる様、緊密なる連絡協調を保ち、委員會に其の責任を負荷せしめ、之が運営を期すべきこと

是ガ附帶決議ノ全文デアリマス、尙ホ社會黨ヲ代表致シマシテ奥村又十郎君ヨリ、國債ノ打切りヲ含マザル今回ノ施策ハ、經濟再建ノ不可能ナラシムルノミナラズ、戰爭ニ依ル各種ノ不公平ノ趣旨ヲ述ベテ、反對ヲ表明セラレタノデアリマス、次イデ無所屬ノ代表致シマシテ中野四郎君ヨリ、本案ノ課稅方法ハ、農村、漁村ノ實情ニ副ハザルモノアリ、食糧増産ニモ反スルト主張シ、又財産評價ニ關シ、不動産賃貸價格ノ時價ニ對スル標準ニ付テ、之ヲ委員會ニ提示セザルハ、不當ナリト理由ヲ以テ、反對ヲ表明セラレタノデアリマス、此ノ中野四郎君ノ反對セラレマシタ法案ハ、財産稅法案及ビ財産稅等

收入金特別會計法案ニ付テデアリマス、他ノ法案ニハ贊成ノ意見ガ述ベラレタノデアリマス、次イデ自由黨ヲ代表致シマシテ菊池長右エ門君、進歩黨ヲ代表シテ藤藤嘉一君、協同民主黨ヲ代表シテ秋田大助君、國民黨ヲ代表シテ穂積七郎君カラ、各、適切ナル希望ヲ述べラレテ、ソレト各案ニ贊成ノ討論ガアツタノデアリマス、續イテ採決ニ入りマシテ、企業整備資金措置法を廢止する等の法律案ハ修正議決、財産稅法案ニ付テハ附帶決議ヲ附シテ原案ノ通り可決致シマシタ、他ノ戰時補償特別措置法案外六件ハ何レモ原案通り可決致シマシタ、以上簡單ナガラ御報告申上ゲマス (拍手)

御異議アリマセヌカ

○ 山口喜久一郎君 直チニ九案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○ 議長(山崎猛君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○ 議長(山崎猛君) 御異議ナシト認メマス、仍テ九案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○ 議長(山崎猛君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ九案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス、討論ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス

——中崎敏君

戰時補償特別措置法案 第二讀會

金融機關再建整備法案 第二讀會

特別和議法案 第二讀會

大藏省預金部等損失特別處理法案 第二讀會

厚生年金保險法及ビ船員保險法特別法案 第二讀會

企業再建整備法案 第二讀會

財産稅法案 第二讀會

財産稅等收入金特別會計法案 第二讀會

企業整備資金措置法を廢止する等の法律案 第二讀會

〔中崎敏君登壇〕

○ 中崎敏君 私人ハ日本社會黨ヲ代表シテ、戰時補償特別措置法案外八件ニ對シ、返上ヲ主張セントスルモノデゴザイマス

本關係法案ハ國民生活ニ重大ノ關係アル調期的法案ナルニモ拘ラズ、政府ハ補償委員會ニ於ケル審議ヲ僅カ三日ノ短期間テ終結セシメントスルノ意圖ヲ以テ、本案ノ強行突破ヲ企圖シタノデアリマス、假令議會ハ突破シ得タリトスルモ、深甚ナル關心ヲ以テ議會ヲ監視シ、アル國民ノ目ヲ掩フコトハ出來ナイデアリマセウ (拍手、發言スル者アリ) スクノ如キ態度ハ議會ノ自由ナル活動ヲ制約セルモノニシテ……

○ 議長(山崎猛君) 靜肅ニ

○ 中崎敏君(續) 恰モ戰時中ニ於テ軍部並ニ官僚内閣ノ執ツタ獨裁政治ト其ノ揆ヲ一ニシ、議會ノ權威ヲ輕カラシムルモノデアリマス、是ニ於テ我が黨ハ、國民ト共ニ往クノ慨ヲ以テ、冷靜慎重ナ態度ヲ以テ審議シ、質スベキハ之ヲ質シ、議會ノ權威ヲ高メ(賣名)ト呼ビ其ノ他發言スル者アリ) 議員ノ職責ヲ果スニ努メテ次第デゴザイマス、我が黨ハ立憲以來終始一貫、戰時補償ノ打切りヲ天下ニ聲明シ、擬制資

本ノ徹底的整理ヲ主張シテ居ルノデゴ
ザイマスガ、其ノ趣旨ニ於キマシテ政
府案ニ反對致シテ居ルモノデハアリマ
セヌ、我ガ黨ガ敢テ政府案ノ返上ヲ主
張スルノ理由ハ、他ニ存スルノデゴ
ザイマス(發言スル者アリ)

第一點ハ、擬制資本ノ整理ガ不徹底デ
アル點ヲ指摘スルノデゴザイマス
〔發言スル者多シ〕

○議長(山崎猛君) 靜肅ニ願ヒマス
○中崎敏君(續) 所謂擬制資本ナル
モノガ何ゾ意味スルカハ明カデアリマ
セヌガ、我ガ黨ノ主張スル擬制資本
ハ、政府ガ……

〔發言スル者多シ〕
○議長(山崎猛君) 靜肅ニ願ヒマス
○中崎敏君(續) 戰時中ニ於テ勝ツト
云フコトヲ前提トシテ國民ニ公約シタ
一切ノ債務ヲ意味スルノデアリマス、
即チ戰時ニ於テ支拂ヲ保證シタ金融
債、營團債、會社債及ビ外債、此ノ
合計二百八億圓、戰爭保險、軍需關係
完成品ノ對價請求權等、合計六百七十
億圓、並ニ銀行等資金運用命令ニ基テ命
令融資額五十億圓、合計九百三十億圓
及ビ戰時國債、其ノ額一千三百餘億圓
ヲ意味スルモノデゴザイマシテ、之ヲ
全面的ニ打切ルコトニ依ツテ敗戦ニ因
リ破産ニ瀕シタ國家ノ財政ヲ整理シ、
滲炭ノ苦シムニ陥ツタ國民ノ負擔ヲ輕
減シ、併セテ惡性インフレーションヲ防止
シ、之ニ加フルニ戰時利得ヲ徹底的ニ
追求シ、斯クシテ企業ヲ財政ノ壓迫カ
ラ解放シ、以テ國家ノ再建ヲ圖リ、民
主ノ安定ヲ期セントスルモノデゴザイ
マス(拍手)然ルニ政府ハ擬制資本ノ整
理ニ名ヲ藉リテ、企業並ニ金融機關ノ
濫存ヲ圖リ(發言スル者アリ)金融緊急
措置法ヲ制定シテ、國民大眾ノ預金、

保險、年金等合計五百四十億圓ヲ第二
封鎖トナシ、更ニ企業ニ對スル巨額ノ
債權ヲ凍結シ、之ヲ以テ補償打切ノ結
果……

〔發言スル者多シ〕
○議長(山崎猛君) 靜肅ニ
○中崎敏君(續) 補償打切リノ結果生
ズル企業並ニ金融機關ノ損失ヲ補償シ、
以テ其ノ犠牲ヲ國民大眾ニ轉嫁スルモ
ノデアリマシテ(拍手)政治的弱者デア
ル所ノ國民大眾ニ對シ、斯カル偏頗ナ
クザイマス(拍手)勿論我ガ黨ハ、企業
並ニ金融機關ノ國家再建途上ニ於ケル
使命ノ重要性ヲ看過スルモノデハゴ
ザイマセヌ、否、是等ノモノガ速カニ混
亂ノ中カラ起テ上ツテ、民生安定ノ先
驅者トナランコトヲ望ム第一人者デア
リマス(拍手)我ガ黨ハ「インフレーション」防止
ニ名ヲ藉ツテ、姑息ナル金融的措置ヲ
講ジテ企業ヲ壓迫シ、經濟ノ再
建ヲ阻ミツ、アル政府ノ施策ニ
嫌ラザルバカリデナク、終始補償打
切リニ反對シタ政府ガ、急遽補償打切
リヲ斷行セザルヲ得ザルニ至ツタ客觀
的情勢ト、時勢ノ推移ヲ洞察スル卓見
ト、認識ヲ缺如セル所ノ政府ノ無能振
ヲ暴露シタモノト言ハナケレバナリマ
セヌ(拍手)

〔發言スル者多シ〕
○議長(山崎猛君) 靜肅ニ
○中崎敏君(續) 抑、補償打切リニ依
ル所ノ損失ハ、企業並ニ金融機關自體
ノ責任ニ於テ處理スベキコトハ理ノ當
然デアリマス、顧ミルニ、戰時中企業
責任者ハ先ヲ争ツテ民需産業ヨリ軍需
産業ニ轉向シ、或ハ待合政策ニ依ツテ
軍人、官僚、統制會社ノ役員等ヲ簡絡
シ、或ハ夜陰密カニ是等要路者ヲ訪レ

テ、企業ノ擴大ヲ審議シ、金融機關ト
通謀シテ不當ノ借入ヲ策シ、中ニハ
設備資材ヲ高價ニ買入レ、其ノ差額ヲ
私シテ私腹ヲ肥シ、或ハ之ヲ山分けシ
タル者ガ枚擧ニ違ナイ次第デゴザイマ
ス(拍手)道義ノ頓廢ニ基因シタリト
言フモ、決シテ過言デハナイノデアリ
マス、之ニ加フルニ軍需會社ノ利益
ハ莫大ナ額ニ達シタコトモ、亦異論ノナ
イ所デゴザイマシテ、其ノ利益ノ相當
部分ガ、含ミ資産ノ形ニ於テ企業資産
ノ中ニ隱サレテ居ルト云フコトモ、亦
疑ヒナイ事實デゴザイマス、即チ設
備ノ過當評價、設備ノ過當償却、内面
償却及ビ物價高ニ依ル自然騰貴ノ外、
原料、材料、手持製成品ノ値上リニ依ル
所ノ利益ハ莫大デゴザイマシテ、是等
ノ時價ニ見積レバ、優ニ補償打切リニ
依ル損失ヲ「カバ」シテ餘アリト言
ハナケレバナリマス(拍手)尤モ個々
ノ企業ニ付テ之ヲ見レバ、飛行機會社
ノ如ク、設備ヲ直チニ他ニ轉用スルコ
トノ困難ナルモノ、或ハ戰禍ニ罹ツタ
工場ノ如ク、實體資産ノ伴ハナイモノ
モナイデハアリマセヌケレドモ、是ト
テモ企業全體ヲ「オール」致シマシテ、
其ノ損益ヲ計算スルコトニ依ツテ、企
業ニ惡影響ヲ及ボスコトナク、延イテ
ハ産業再開ヲ阻ムコトナク、補償打切
リ有終ノ美ヲ濟スコトガ出來ル譯デア
ルト信ズルノデアリマス

然ルニ政府ハ本法案ニ於テ、資産ノ
評價替ヲナスカ否カノ決定權ヲ企業家
ニ一任シ、又資産ノ評價替ヲスル場合
ニ於テモ、其ノ評價ノ基準ヲ本法ニ規
定スル所ナク、命令ニ讓リ、而モ評價
基準ヲ未だ決定シテ居ナイト云フ状態
デゴザイマス、補償打切リ善後措置ノ
眼目タル資産ノ評價替ニ對スル政府ノ

態度ハ、實ニ不可解デアルト言ハナケ
レバナリマセヌ(拍手)政府ノ政策ガ資
本家ノ代辯ヲ言ハレルモノ、實ニ此
ノ點ニ存スルノデゴザイマス、我ガ黨
ハ國民大眾ト共ニ政府ヲ嚴重監視スル
モノデゴザイマス、尙ホ政府ガ賠償ノ
爲メ撤去スベキ施設ニ對スル處置ニ付
テ具體案ヲ持タナイコトハ、甚ダ遺憾
ト存ズル次第デゴザイマス、果シテ何
レノ工場ヲ撤去スベキヤ不確定ナコト
ハ、政府ノ言フ通りデゴザイマスルガ、
「ボーレー」委員會案ト、第一次並ニ第
二次指定工場ノ發表ト、其ノ後ノ交渉
經過ニ鑑ミ、大體ノ範圍ハ想定シ得ル
所デゴザイマシテ、是等ヲ綜合シテ、
撤去企業ニ對スル損失補償ヲ如何ニス
ルヤ、是ガ爲ニ生ズル企業配置及ビ物
資ノ生産不足ヲ如何ニシテ「カバ」ス
ルヤハ、企業整備再建途上ニ於ケル所
ノ重要課題デゴザイマスルガ、是等ノ
點ニ關シテモ國民ヲ納得セシムルニ足
ル具體案ヲ有セナイノデゴザイマス

次ニ戰時國債ノ棒引ハ、擬制資本整
理ノ一環ト致シマシテ、此ノ際斷乎決
行セバナラス所デゴザイマス、千三
百餘億ニ上ル巨額ノ戰時公債、而モ今
年度末ニハ二千億ヲ突破スルト豫想セ
ラレルノデアリマスカラ、其ノ利拂ダ
ケデモ一箇年實ニ七十億圓餘ニ上ルト
推定サレルノデアリマスガ、政府ガ如
何ニ暴虎馮河ノ勇ヲ揮ツテモ、故意ニ、
恐ルベキ惡性インフレーションヲ誘
發セシメナイ限り、日本經濟ハ到底其ノ
負擔ニ堪ヘ得ナイ所デゴザイマス、政府
ハ内外ノ事情ニ依リ、厭々「ナガラ」補
償打切リヲ決意セザルヲ得ナカツタト
同様、近イ將來必ズ軍事國債ノ棒引ヲ斷
行セザルヲ得ザルニ至ルコトハ、私ノ
斷言シテ敢テ憚ラナイ所デゴザイマ

ス、果シテ然ラバ、何ゾ苦シンデカ不
徹底ノ整備ヲ小出シニ實行シ、日本經
濟ノ再建ヲ遲延セシメテ、國民ノ不安
ヲ慢性化セシメルカバ疑フノデゴザイ
マス、我ガ黨ガ本關係法案ノ返上ヲ主
張スル理由ノ一ツハ、實ニ此ノ點ニ存
スル譯デゴザイマス、政府ハ速カニ社
會主義的計畫經濟ニ基ク綜合施策ニ依
ル安定物價水準ヲ策定シ、之ヲ基準ト
シテ各企業資産ノ再評價ヲナサシメ、
全企業ヲ打ツテ一九トシタ損益「ブー
ル」シ、其ノ剩餘金ヲ以テ國債ヲ打
切り財源ニ充瀾スベキモノト信ズル
譯デゴザイマス

茲ニ一言附加ヘタイコトハ、企業ノ
資産ノ評價替スルニ當リ、安定物價ヲ
基準トシテ資産ノ評價替ヲ計スル
モノ、決シテ企業ヲ不健全ナラシムル
モノデナク、寧ロ現在不當ニ安ク見積ラ
レテ居ル所ノ帳簿上ノ資産價格ヲ、安
定物價水準マデ引上ゲルコトニ依ツ
テ、初メテ他ノ一般物價ト均衡ヲ保
チ、公平ナル立場ニ於テ經濟活動ノ再
出發ガ出來ルモノト信ズル譯デゴザ
イマス

返上理由ノ第二點ハ、本法ノ實施ハ
國民負擔ノ公平ヲ破ルモノデアリマ
ス、即チ本法ハ「パーセント」課税ニ
依ツテ補償ヲ打切ラントシテ居ルノデ
アリマスルガ、負擔ノ公平ヲ期スル上
ニ於テ、遺憾ノ點ガ存スルノデアリマ
ス、即チ政府ハ、戰爭ニ基因スル債務
ノ不履行ガ政府ノ信用ヲ失墜スルコト
ヲ懼レテ、支拂フベキモノハ支拂ヒ、
取ルベキモノハ取ルト云フ感シテ與
ヘ、國民ヲ錯覺ニ陥レントシテ居ルノ
デアリマスルガ、斯カル姑息ナ麻酔政
策ハ、到底我々ノ容認シ得ナイ所デア
リマス、宜シク政府ハ、敗戦ノ現實ヲ率

テ、企業ノ擴大ヲ審議シ、金融機關ト
通謀シテ不當ノ借入ヲ策シ、中ニハ
設備資材ヲ高價ニ買入レ、其ノ差額ヲ
私シテ私腹ヲ肥シ、或ハ之ヲ山分けシ
タル者ガ枚擧ニ違ナイ次第デゴザイマ
ス(拍手)道義ノ頓廢ニ基因シタリト
言フモ、決シテ過言デハナイノデアリ
マス、之ニ加フルニ軍需會社ノ利益
ハ莫大ナ額ニ達シタコトモ、亦異論ノナ
イ所デゴザイマシテ、其ノ利益ノ相當
部分ガ、含ミ資産ノ形ニ於テ企業資産
ノ中ニ隱サレテ居ルト云フコトモ、亦
疑ヒナイ事實デゴザイマス、即チ設
備ノ過當評價、設備ノ過當償却、内面
償却及ビ物價高ニ依ル自然騰貴ノ外、
原料、材料、手持製成品ノ値上リニ依ル
所ノ利益ハ莫大デゴザイマシテ、是等
ノ時價ニ見積レバ、優ニ補償打切リニ
依ル損失ヲ「カバ」シテ餘アリト言
ハナケレバナリマス(拍手)尤モ個々
ノ企業ニ付テ之ヲ見レバ、飛行機會社
ノ如ク、設備ヲ直チニ他ニ轉用スルコ
トノ困難ナルモノ、或ハ戰禍ニ罹ツタ
工場ノ如ク、實體資産ノ伴ハナイモノ
モナイデハアリマセヌケレドモ、是ト
テモ企業全體ヲ「オール」致シマシテ、
其ノ損益ヲ計算スルコトニ依ツテ、企
業ニ惡影響ヲ及ボスコトナク、延イテ
ハ産業再開ヲ阻ムコトナク、補償打切
リ有終ノ美ヲ濟スコトガ出來ル譯デア
ルト信ズルノデアリマス

然ルニ政府ハ本法案ニ於テ、資産ノ
評價替ヲナスカ否カノ決定權ヲ企業家
ニ一任シ、又資産ノ評價替ヲスル場合
ニ於テモ、其ノ評價ノ基準ヲ本法ニ規
定スル所ナク、命令ニ讓リ、而モ評價
基準ヲ未だ決定シテ居ナイト云フ状態
デゴザイマス、補償打切リ善後措置ノ
眼目タル資産ノ評價替ニ對スル政府ノ

直ニ認め、補償打切りガ經濟再建ノ爲ニ已ムヲ得ザル非常措置ナルコトヲ國民ニ知ラシメ、以テ國民ノ心カラナル協力ヲ得テ、國家再建ノ第一歩ヲ踏出スベキデアルト信ズル譯デゴザイマス

是ガ爲ニハ、預金者、保險契約者、社債權者、株主其ノ他ノ權利者、各種企業並ニ金融機關等ニ對シ、其ノ能力並ニ責任ノ程度ニ應ジテ、公正妥當ナル措置ヲ講ズベキモノト信ズルノデゴザイマス、即チ政府ハ先ヅ補償權利者ニ對シ、其ノ請求權ヲ取消シ、其ノ直接當事者ヲシテ、資産ノ評價替其ノ他ノ方法ニ依リ善後措置ヲ講ゼシメ、更ニ關係重役ノ私財ヲ提供セシメ、是ガ整理ヲナサシムルコトニ依リ、補償打切りヲ公平且ツ有效ニナスコトガ出來ルト信ズルノデゴザイマス、第一封鎖、第二封鎖ノ如キ不自然ナル措置ヲ講ズルコトニ依ツテ、政府並ニ金融機關ノ信用ヲ失墜セシメ、新圓ニ對スル民間退蔵ノ如キハ不自然ナ現象デゴザイマスガ、之ヲ常道ニ返シ、經濟再建ノ基礎ヲ確保シ得ルモノト信ズルモノデゴザイマス

ハ、政府ノナシタ公約ハ已ムヲ得ナイ事情ノ存セザル限り實行セラルベキモノデアリ、國民ノ信用回復ニ最善ノ努力ヲ拂フベキモノト信ズル譯デアリマス

第三點ハ、金融資本ガ企業資本ヲ壓迫シ、經濟再建ヲ阻礙スル虞ガアル點ヲ指摘スルノデアリマス、會社經理應急措置法ニ依レバ、特別經理會社ニ對スル債權者、主トシテ金融機關側カラ特別管理人ヲ入レテ特別經理會社ノ重要業務全般ニ關與スルコトニナツテ居リマスガ、企業ニ不慣レノ金融機關ノ役員ガ、企業ニ對シテ斯カル重要ナル發言權ヲ持チマスレバ、企業ノ敏速關連ナル活動ヲ阻礙スルモノデゴザイマス、其ノ他金融機關ニ對シマシテハ、企業ヨリモ遙カニ國家ノ保護ガ厚ク、第二封鎖ノ措置等ニ關聯シマシテ、企業ノ預金ヲ吸收シ、更ニ政府ノ誤レル施策ニ基因シテ、新圓預金ノ不足ガ、貸金利息ノ引上ヲ不可避ナラシメ、生産費ヲ高メ、物價ヲ騰貴セシメ、企業ノ再建ヲ阻ム事實ハ、決シテ輕視スルコトガ出來ナイノデアリマス

第四點ハ、本法ニハ隨所ニ非民主的規定ガ盛ラレテ居ルノデゴザイマス、例ヘバ企業再建準備法第二十九條ニ、「特別經理株式會社は、決定整備計畫に定める事項については、法令の規定又は定款の規定にかかわらず、株主總會又は社債權者集會の決議を経ることを要しない。」旨ヲ規定シテ居リマス、是レ恰モ戰時中ニ於ケル指導者原理ヲ採用シタモノデアリマスガ、經濟民主化ノ線ニ沿ヒ、寧ロ定款ノ定ムル所ニ依リ、株主總會又ハ社債權者集會ノ決議ヲ認メ、其ノ決議ガ決定整備計畫ノ實行ヲ妨グル虞アル場合ニ限り、主務大臣ガ之ヲ取消シ又ハ變更スルコト

ガ出來ル旨ヲ規定スベキデアルト信ジマス

第五ノ點ハ、戰時利得ノ徹底的追求ヲ要求セントスルモノデアリマス、企業及ビ金融機關ノ評價替ハ勿論、其ノ評價益ハ、戰時利得稅トシテ百パーセントノ課稅ヲナスト共ニ、債權者ニ迷惑ヲ掛ケタ企業及ビ金融機關ニ對シテハ、今後五箇年間配當ノ制限ヲナスベキモノト信ズル譯デアリマス、然ルニ政府ハ企業及ビ金融機關温存ノ爲メ、前内閣ガ發表シタ案ヲ根本的ニ覆シタノデアリマスシテ、其ノ理由トスル所ハ、企業並ニ金融機關ニ對シテハ、補償打切りニ依リ過度ノ負擔ヲナサシムルニ至ルコトトナルカラ、之ヲ廢止シタト云フコトヲ申シテ居リマスガ、補償打切りニ依リ殆ンド損失ノナイ所ノ企業及ビ金融機關ノ數知レズアル譯デゴザイマシテ、是等ノモノノ中ニハ、尙ホ巨額ノ利益ヲ蓄積シテ居ルモノモ多數ニアル譯デゴザイマシテ、斯クノ如キモノニ對シテ課稅スルノハ當然ノ理由デゴザイマス

第六ノ點ハ、金融機關ニ對スル政府ノ支拂保證ニ對スル點ニ付テ反對スルモノデゴザイマス、金融機關ガ、補償打切りノ結果生ズル所ノ損失ヲ第二封鎖預金ヲ以テ穴埋メシマシテモ、尙ホ不足ヲ生ズル時ニ於キマシテハ、政府ハ百億圓ヲ限り補償スルコトニナツテ居リマスガ、右ハ企業並ニ金融機關ノ資産ヲ再評價スルコトニ依ツテ、更ニ企業ノ評價益ニ課稅スルコトニ依ツテ、更ニ企業又ハ金融機關ノ損失ヲ全體「プール」スルコトニ依ツテ、政府補償ノ必要ヲナカラスムルモノト信ズル譯デアリマス、百億圓ノ政府補償ニ依ツテ金融機關ノ信用ヲ確

保シ、新圓預金及ビ第一封鎖預金ノ支拂ヲ保證セントスル所ノ政府ノ意圖ヲ了解シ得ナイデアリマセヌケレドモ、抑モ補償打切りハ、政府ノ負擔ヲ皆無ニスル方法ニ依ツテナスベキモノデアツテ、一面補償ヲ打切ツテモ、他方ニ於テ新シイ補償ヲスルノデハ、補償打切りノ目的ニ副ハナイ譯デゴザイマス、是ガ爲ニ資産ノ評價ヲ辛クシ、企業及ビ金融機關ニ對シ、不當ノ利益ヲ與フル結果トナル譯デアリマス

第七ノ點ハ、勞働者ニ對スル政府ノ認識ガ、著シク時代錯誤デアアル點ヲ指摘セバナラヌノデアリマス、企業再建上勞働者ヲ重視シ、之ヲ尊重スルコトハ、無上ノ命令デアリマス、然ルニ政府ハ資本家ノ舊套ヲ一步モ脱却セズ、新時代ニ處スル認識ヲ改メザルハ遺憾デアリマス、即チ特別經理會社ノ整備計畫中ニ、勞働者ニ對スル計畫ヲ除外シ、勞働計畫ノ專ラ資本家ノ獨斷專行ニ任シテ居ル譯デアリマスガ、是ハ明カニ片手落デアリマシテ、資本家對勞働者ノ摩擦ヲ激化スル虞ガアルノデゴザイマス、尙ホ政府ハ補償打切りニ依ル企業ノ縮小若シクハ閉鎖ニ際シ、勞働者ノ解雇若シクハ手當ノ支拂ヲナシテ居ルニ過ギナイコトハ、深ク我ガ輩ノ遺憾トスル所デアリマス

次ニ財産稅法案ニ付テ一言致シマスレバ、本法ノ目的ハ、富ノ均衡化ニ依リ經濟ノ民主化ト、緊要ナル終戰處理及ビ戰後復興費ノ財源ニ充當スルコトニアリマスガ、我ガ輩ハ、右ノ外、戰時利得ノ全面的沒收ヲ主張スルノデアリマス、右ノ如キ見地ニ於テ本法案ヲ見マスレバ、個人ノ戰時利得ノ沒收ニ深キ意ヲ注ガズ、法人ノ戰時利得稅ヲ

取止メタ政府ノ眞意ハ、了解ニ苦シム點ガゴザイマス、又富ノ均衡化ニ付テモ、負擔ノ公平化ニ付テモ、本法ハ不徹底極マルモノトダ言ハナケレバナリマセヌ、戰爭ニ依ツテ塗炭ノ苦シミヲ嘗メテ居ル戰災者、敗戰ニ依リ生死ノ間ヲ彷徨シテ居ル復員者ニ對シ、僅カ五千圓ノ特別免稅點ヲ設ケテ居ルニ過ギザルガ如キハ、政府ガ是等戰災者及ビ復員者ノ悲痛ヲ叫ビニ日ヲ掩ヒ、「インフレ」ノ現狀ヲ忘却セルモノト斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス、之ニ對シ、換物ニ依リ財産ノ隱匿ヲ圖ツテ居ル所ノ幾多ノ人々ニ對シマシテハ、課稅ノ施策ヲ有セズ、巨額ニ上ル新圓ノ退蔵者ニ對シテモ、課稅ノ方策ハナイノデアリマス、斯クテ富ノ均衡ヲ圖リ、負擔ノ公平ヲ期スルト云フ政府ノ言明ヲ信頼シ得ナイ點ハ、故ナシトシナイノデアリマス、政府ハ財産稅收入ヲ四百三十五億ト見積ツテ居リマスガ、之ヲ確實ニ徵收シ得ルヤ否ヤハ、財政計畫ニ關聯ヲ來スノミナラズ、豫定ノ收入ヲ確保出來ナイ場合ニハ、更ニ十萬圓ノ免稅點ヲ五萬圓マデ引下ゲテ徵收セザルヲ得ナイ場面ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、此ノ點ヲ質シタル所、大藏大臣ハ、四百三十五億圓ノ徵收シ得ル確信ヲ持ツテ居ルトノ答辯ヲサレタノデアリマスガ、其ノ主要財源タル不動産ニ對スル評價基準モ、未ダ明カニサレザル狀態デアリマシテ、斯クテハ一面苛斂誅求ノ虞ガアルバカリデハナクシテ、他面稅務關係者ノ偏頗ナ措置モ考ヘラレマスノデ、不動産評價ダケハ、少クトモ本法ニ明示スベキモノト信ズルノデアリマス、然ルニ政府ガ委員會ニ於テ執ツタ秘密的態度ハ、戰時中ニ於ケル官僚獨善、祕密嚴守主義

ノ現ハレデアリマシテ、國民ノ要望シテ已マヌ明朗ナル政治モ、到底望マレナイ次第デゴザイマス

要スルニ我ガ黨ハ、補償打切り及ビ財産稅ノ徵收ニ對シ、趣旨ニ於テ反對スルモノデハアリマセヌ、寧ロ是ガ徹底ノ如キ、有産階級ノ特別保護ヲ隱シレタル目的トシテ、産業ノ再開「インフレ」防止並ニ失業對策ニ付テモ確タル見透シト施策抱負ヲ伴ハザル不徹底ノ法案ヲ返上シ、今マデ儘々述ベタ趣旨ニ沿ウタ案ヲ練リ直シ、改メテ提出サレンコトヲ要望スル次第デアリマス

○議長(山崎猛君) 總讀七郎君

○總讀七郎君(私ハ國民黨ヲ代表致シ)

マシテ、只今上程サレテ居リマス諸法案ニ對シテ、委員長報告通り贊成スルモノデアリマス(拍手) 簡單ニ贊成ノ趣旨ヲ明カニ致シテ置キタイト思ヒマス

我々ガ此ノ法案ニ贊成致シマスノハ、未練ガマシイ親ガ死ンダ子供ノ年ヲ算(ヘルヤウナ感情ヲ以テ、此ノ法案ニ贊成スルモノデハナイノデアリマス、此ノ法案ガ如何ニ翻期ノ深刻ナモノデアリマシテモ、敗戦後ノ日本經濟再建ノ爲ニ積極ノ必要デアルト云フ趣旨ニ立ツテ、我々ハ贊成致スモノデアリマス(拍手)何トナレバ、消極ノナ已ムヲ得ザル措置トシテ之ヲ受取リマスナラバ、徒ラナル經濟ノ混亂ヲ起スノミデアツテ、何等後々ノ建設ノ爲ニ役立タナイト信ズルカラデアリマス(拍手)其ノ目的ヲ達シマス爲ニハ、此ノ法案ニ於キマシテ二ツノ點ガ最モ重點トシテ反省サレナケレバナラナイト思

フデアリマス、其ノ一ツハ、措置ノ公平ニ付テデアリマス、第二ノ點ハ、此ノ措置ガ行ハレマシタ後ノ經濟並ニ國民生活ニ對シマスル、爾後ノ處理ニ付テノ適切サデアリマス(拍手)第一ノ公平ニ付キマシテハ、言フマデモナク戰災者、引揚者ヲ初メト致シマスル、正直ナル戰爭犠牲者、是ト不常ナル戰時利得者トノ間ニ於キマス公平ヲ期スルコトガ眼目デナケレバナラヌノデアリマスガ(ソレガ出來ヌデヤナイカ)ト呼ブ者アリ、(拍手)其ノ爲ニハ、先ツ第一番ニ、評價ノ基準ガ明確ニシテ、且ツ十分ナル準備ガナサレテ居ルコト

ハ、評價或ハ調査ノ諸ノ委員會ガ、最モ廣汎ニ且ツ民主主義的ニ構成サレテ、是ガ評價ニ對シマスル責任ヲ自主的ニ持チ得ルコトデアリマス、第三ハ、此ノ措置ニ當リマスル直接ノ官僚機構デアリマス稅務機關ガ、從來ノ如キ偏頗乃至ハ官僚的ナル心構ヘヨ改メマシテ、此ノ民主的ナル委員會ト自主的ニ共同スルコトニ依ツテ、初メテ今申上ゲマシタ公平ヲ期シ得ルコト信ズルノデアリマス(拍手)併シナガラ委員會ニ於テ明カニサレマシタル、政府ノ是等三點ニ對シマスル準備ト云フモノハ、遺憾ナガラ我々カラ眺メマシテ、未準備デアリ、或ハ不備ナ點ヲマダ殘シテ居ルコト云フ危懼ヲ我々ニ持タシメタノデアリマス、ニモ拘ラズ我々ガ之ニ贊成セシトスルモノハ、是等ノ不備、缺陷、不徹底ガアリマシテモ、是ハ政府ノミナラズ、國民全部ガ、敗戦後ノ日本經濟再建ノ熱意ト責任ヲ持ツテ是正シテ行クベキコトヲ信ジテ、我々ハ此ノコトノ缺陷ヲ指摘シ、政府ノ自覺ヲ求メテ贊成スル態度ニ出タモノデアリマス(拍手)

第二ハ、此ノ措置ノ爾後ノ處理ニ付テデアリマスガ、是ハ我々ハ最モ深刻ニ考フル所デアリマス、其ノ第一點ハ、措置ヲ執リマシタ後ノ我ガ國ノ生産ノ復興ニ付テデアリマス、第二點ハ、是ト共ニ深刻ニ我々ノ生活ノ中ニ、政治ニ、而モ危機ヲ孕ミツ、出テ參リマスル失業ニ對スル對策デアリマス、第三ニハ、此ノ措置ニ伴ヒマシテ後ノ日本經濟建設ノ爲「インフレ」對策並ニ財政ノ健全化、此ノ三點デゴザイマス

第一ノ生産性ノ確保ニ付キマシテハ、此ノ度措置ガ執ラレマシタ後ニハ、正當ニ其ノ生産ニ對シテ發言權ヲ持ツテ居ル者ガ、其ノ發言權ヲ失墜スル處ガアルノデアリマス、又其ノ生産ニ對シマシテ、國家の見地ニ立ツテ十分ナル能力ヲ持ツ者ガ、其ノ生産ノ計畫ヲ途中デ放棄シナケレバナラヌト云フ子盾ヲ減スルノデアリマスガ、ソコデ是等ノ結果ガ現ハレテ參リマシテモ、此ノ法案ニ依ル措置トハ別ニ、今後ノ生産建設ニ對シテ、政府ガ積極的ナル援助乃至ハ指導ヲ自ラノ責任ニ於テ行フコトヲ條件ト致シマシテ、我々ハ第一ニ此ノ問題ニ對シテ了承致シタ譯デアリマス(拍手)之ニ關聯致シマシテ此ノ際特ニ政府ノ要望致シテ置キタイコトハ、物納ニ依リマスル多クノ物件ガゴザイマスルガ、此ノ中ニハ、其ノ管理如何ニ依リマシテ、今後ノ我ガ國經濟ノ生産性ニ至大ナル影響ヲ持ツモノガ多クアルノデアリマス、之ニ對シ如何ナル體制、如何ナル方法デ管理スルカニ付テノ政府ノ御答辯ハ、未ダニ無準備乃至ハ考慮中ト云フ御答辯デアリマシテ、我々意ニ滿タナイ所ガアルノデアリマスガ、之ニ對シマシテモ、先

程申シマシタ通り、火急ノ措置デアルト云フコトニ口實ヲ藉リマシテ、其ノ失態ナキコトヲ嚴重ニ此ノ際更メテ申上ゲマシテ、此ノ問題ニ對スル政府ノ責任ヲ明カニ致シテ置キタイト思フノデアリマス

第二ニ於キマシテハ、失業對策デアリマスガ、是ハ、此ノ措置ヲ執リマシタ後ニ於ケル我ガ國ノ經濟並ニ政治ニ付キマシテノ中心問題デアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、特ニ來年以後、賠償撤去後ニ於キマスル我ガ國經濟ニ付テ之ヲ眺メマスナラバ、資材ノ點カラ致シマスル生産ノ困難ト云フモノハ、想像ニ難クナイノデアリマス、下半年以後ニ於キマスル我ガ國經濟ノ崩壊ノ危機、深刻ナル失業ノ露呈ト云フコトニ對シマシテハ、此ノ對策如何ニ依ツテ、只今上程サレテ居リマス緊急ナル措置ガ生キルカ、死ヌカノ時デアルト私ハ信ズルノデアリマスガ、實ハ我々ガ此ノ際遺憾ノ意ヲ表シナガラ、深甚ナル政府ノ反省ヲ再ビ求メテ置キタイコトハ、此ノ補償打切りノ措置ニ對シマシテハ、涙ヲ流サンバカリニ説明サレマシタル政府ガ、失業問題ニ對シマシテハ、其ノ十分ナル責任ト自信トヲ示サレルノニ聊カ不足ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、若シ此ノ失業問題ガ、現在マデニ於テ幾多ノ機會、或ハ討論ニ於キマシテ示サレマシタル程度ノ政府ノ對策ヲ以テ致シマシテハ、到底我々ハ之ヲ解決スル望ミガナイト思フノデアリマスガ(ソレデモ贊成スルノカ)ト呼ブ者アリ)之ニ對シマシテハ我々ハ、現在ノ政府ノ對策ト意思ガ何レノモノデアリマシテモ、必ズ來年以後ニ於ケル我ガ國ノ經濟並ニ政治ノ舞臺ニ於キマシテ、國家化サ

レマシタル、生産性ニ裏付ケラレマシタル失業對策ト云フモノガ、必ズ現ハレテ來ルコトヲ我々ハ見透シ、且ツ信ジテ、之ニ對スル智成ノ態度ヲ表明シタノデアリマス(拍手)

最後ニ「インフレ」對策並ニ財政ノ健全化ノ問題デアリマスガ、先程委員長ノ御報告ガアリマシタ通りニ、政府ハ最初ノ豫定ヲ變更サレマシテ、戰債千數百億ハ元利共ニ其ノ儘ニ据置カレマシテ、サウシテ此ノ度取上ゲマスル財稅ハ、大多數ガ一般會計トシテ、今年度、其ノ生産性ノ未ダニ裏付ケラレザル時期ニ於キマシテ、大藏省證券ヲ見返リト致シマスル新圓ノ放出ト云フ深刻ナル方法ガ考ヘラレテ居リマシマス、而モ來年度ニ於キマシテ支出ヲ縮減シ、サウシテ復興スル生産ノ基礎トスル所得稅制度ニ依ル財政ノ建設ト云フコトヲ、自信ヲ以テ言ハレタノデアリマスルガ、我々ハ之ニ對シテ多大ノ危懼ヲ抱クノデアリマス(危懼ドラケデヤナイカ)ト呼ブ者アリ)所得稅ヲ中心トスル稅制ヲ確立シテ、財政ノ安全ヲ圖リ得ルコト云フコトハ、來年ノ生産ノ實情カラ致シマシテ、到底十分ニ望ミ得ナイ、サウナリマスルト、アトハ大衆課稅トナリマスル流通課稅ヲ増徴致シマシテ、サウシテ稅制ノ穴ヲ埋メ

デアリマス、サウナリマシタ時ニ、茲ニ社會黨ノ方々カラモ提起サレマシタ如ク、今度ノ措置デ擬制資本ヲ打切ラレマシタガ、戰債ヲ中心ト致シマスル擬制豫算ハ打切ラレナカクツノデアリマスガ、之ニ對シマシテモ、現在ノ政府ノ意圖ガ如何ナルモノデアラウトモ、其ノ答辯ガ何デアラウトモ、我々ハ日本經濟ノ求ムル所ニ依リマシテ、

必ズヤ此ノ問題ガ、再ビ我が國ノ政治解決ヲ迫ツテ出テ來ルコトヲ確信スルノデアリマス(拍手)

現ニ現内閣ニ於キマシテモ、此ノ補償打切りニ對シ、日本經濟再建ノ爲ニ反對サレテ來タニ拘ラズ、現實ガ之ヲ要求シテデアリマス、ソレト同ジク、私ハ必ズヤ次ノ時期ニ於テ、政府ノ現在ノ方針、意思如何ニ拘ラズ、戦債打切り問題並ニ稅制ノ根本的ナル改革ノ問題ガ出テ來ルコトヲ見透シ、且ツ信ジマシテ、此ノ法案ニ贊成ノ意ヲ表シタノデアリマス

之ヲ要シマスノニ、我々ハ以上申シマシタ數點ニ瓦ツテ多クノ不準備或ハ不徹底、危懼ヲ抱クモノデアリマスルガ、現在終戦後ノ我が國經濟ノ要求シマスモノハ、拙速デアリマス、時々刻々刻ニ迫リツ、アリマス生産ヲ復興シ、早ク我々ノ獨立ト安定ヲ經濟ニ持チ來スト云フコトデアリマスノデ、我々ハ實行シツ、修正シ、修正シツ、實行シテ行クト云フ態度ニ於キマシテ、我々モ自ラ其ノ責任ヲ感ジツ、此ノ法案ニ贊成スルモノデアリマス(拍手)

○議員(山崎猛君) 中西伊之助君 [中西伊之助君登壇] ○中西伊之助君 私ハ日本共產黨ヲ代表致シマシテ、戦時補償特別措置法案外八案ニ對スル反對ノ理由ヲ申上ゲマス

○議員(山崎猛君) 靜肅ニ——靜肅ニ ○中西伊之助君續) 此ノ九法案ノ中デ、其ノ根幹ト目スベキ戦時補償ノ打切りニ關スル法案、財産稅法案、此ノ所謂表裏一體ノ法案ニ付キマシテ、甚ダ簡單ニ其ノ理由ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス

先ヅ戦時補償打切りノ問題デアリマスルガ、是ハ擬制資本ノ整理ダト云ツテ居リマス、無論其ノ通りデアラ、此ノ擬制資本ト云フ言葉ニ付キマシテハ、果シテ是ガ適語デアるか否カト云フコトニハ問題ガアルノデアリマス

ガ、通常サウシタ用語ヲ用ヒラレテ居リマスルカラ、所謂擬制資本ト私ハ申シテ置キマス、此ノ擬制資本ハ即チ名目上ノ、詰リ空資本、紙幣資本デアリマシテ、決シテ現實ノ生産資本デアリマセズ、此ノ生産資本デアリマセズ——私ハ甚ダ疑問ト言フヨリモ、寧ロ政府ノサウシタ方針ニ對スル多クノ矛盾、欺瞞ト云フモノヲ感ズルノデアリマス、擬制資本ト云フモノノ本質ハ、モウ説明スルマデモアリマセヌガ、サウシタモノヲ以テ現實ノ生産資本ニ摺替ヘツ、アルト申シマスノハ、此ノ擬制資本ニ從事シテ居ル所ノ労働者、勤勞階級ヲ整理シナケレバナラナイ、之ヲ誠首シナケレバナラナイト云フ此ノ政府ノ態度、又サウシタコトヲ口實ニシテ、現ニ盛シニ労働者ヲ街頭ニ放リ出シテ居ルノハ、我々ガ甚ダ不思議ニ感ズル所デアリマス、是ハ此ノ擬制資本ヲ整理スルコト云フ口實ノ下ニ、現實ノ労働者ヲ誠首スル手段ニ用ヒラレテ居ル、是ガ我々ノ本案ニ絕對反對ヲ致シマス重大ナ理由デアリマス

申スマデモナク終戦後ニ於キマシテ、皆サンガ御承知ノ通り、多數ノ現實ノ生産資本ノ破壊ニ依リマシテ、多クノ労働者、勤勞者階級ガ解僱ヲサレマシタ、サウシテ殘リ必要ナ部分ガ、現在マデ其ノ現實ノ生産資本ノ下デ生産ラシテ居ルノデアリマス、所ガ資本家階級ノ代辯者デアリマス所ノ日本經濟新開ハ、之ニ對シテドウ云フコトヲ申シテ居ルカト申シマス、即チ八月十三日、補償打切りト補償打切り論者ノ責任ト題シマシテ、補償打切りガ異常ニ困難ナル仕事デアリ、隨テソコニ幾多ノ矛盾撞著ヲ免レナイ性質ノモノデアルコトハ、初メカラ分リ切ツテ居ルコトデアッタト云フコトヲ言ツテ居ル、其ノ代表的ナモノハ大量失業ノ發生デアアル、隨テ補償打切りニ依ツテ失業ノ發生ガ或ル程度已ムヲ得ナイトスレバ、補償打切りヲ主張シタ者ハ、失業ノ發生ニ對シテモ當然責任ヲ執ルベキデアアル、打切りヲ主張シタ政府ト、言論界其ノ他ノ避クベカラザル責任デアアルト云フコトヲ申シテ居リマス、所ガ只今モ申シマシタ通り、ソレハ嘘デアアル、現實ニ此ノ生産ニ從事シテ居ル即チ工場或ハ機械、器具、原料品ト云フモノガ現存シテ居ルノデアアル、ソレニ從事シテ居ル所ノ労働者ヲ首切ル必要ハナイノデアリマス、所ガナゼ然ラバサウ云フ口實ノ下ニ誠首シタカ、誠首ノ理由ヲ捏造シタカト申シマス、是ハ終戦後ニ、皆サンモ御承知ノ通り労働運動ガ勃興致シマシテ、労働組合ヲ労働者ガ結成致シマシテ、二倍、三倍——是ハ食ヘナイカラ仕方ガナイノデアリマス、二倍、三倍ノ要求ヲ致シマシテ、現在使ハレテ居ル所ノ労働者ト云フモノハ、高率賃金デアリマス、此ノ高率賃金ノ労働者ヲ誠首シテ「アジア」的低賃金ニ依ツテ備ヒ入レナケレバナラナイト云フ、利潤追求ノ資本家階級ノ隠謀デアルト、私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス

更ニ我々ガ不思議ナコトハ、即チ現ニ放置サレテ居ル所ノ、千四百億圓ニ達スル國債デアリマス、是ハ大體戰時利得ト見テ宜イノデアリマスガ、斯ウシタモノヲ整理シナイデ、而モ資本家階級、金持階級ニ對シテ、年額七千萬圓ト云フ巨額ナ配當ヲシテ居ルノデアリマス、所ガ一例ヲ採リマス、僅カニ二億圓ノ整理ヲスル爲ニ、即チ國鐵従業員十三萬、其ノ家族五十萬ヲ飢饉ニ追込ムト云フヤウナ、苛酷、冷酷ナ處置ヲ執ツテ居ルノデアリマス、私ハ、労働者階級ニ對スル斯クノ如キ整理ニ對シテ、石橋財政、石橋藏相ハ呪ハレテ宜イト考ヘテ居リマス

次ニ財産稅デアリマスルガ、此ノ財産稅ニ付テハ、一年程前ニ我々ハ、財産稅課金ト云フコトヲ類リニ宣傳サレテ居タ、ソレデ資本家階級ハ顔色蒼然トナツタノデアリマスルガ、一體網ヲ掛ケルゾ、網ヲ掛ケルゾト云フ漁師ガ魚ノ前デ威シタ場合ニ、是ハ逃ゲテ行クノガ當リ前デアアル、逃ゲナイヤツハ百ノ魚デアアル、サウ云フヤウナ方法ヲ執ツテ、前内閣ガ千億ト云フ計畫ヲ立テタニ拘ラズ、現内閣ハ、「インフレ」ニ依ツテ價格ガ約十倍ノ昂騰ヲシテ居ル際ニ、僅カニ四百三十五億ニ過ギナイ、殆ド其ノ二十分の一位ナモノヲ、財産稅デアアルゾト云フ大キナ看板ヲ掲ゲテ、如何ニモソコニ社會的正義ガアルガ如ク、欺瞞的ナ法案ヲ今出シタノデアリマス、是ハ無論此ノ「インフレ」ニ依ツテ、其ノ内ニ又資本家階級ノ方ヘ還ツテ行ク、即チ是ハ電氣仕掛デ再ビ還ツテ行クコトハ申スマデモナイノデアリマス、是ハ賢明ナル皆サンガ能ク御承知デアラウト存ジテ居リマス、殊ニ委員長報告ニアリマスル通り、此ノ税金ハ第二封鎖デ支拂ツテ宜イト云フコトデアリマスガ、

ソレガ税金トナツテ現ハレテ參リマスト、是ハ「インフレ」ヲ増長スルニ過ギナイノデアリマス、斯ウシタ二十分ノ一ノ財産稅ヲ課セテ、而モ是ガ如何ノ社會政策ノ如ク、或ハ社會正義ノ如ク、或ハ富ノ再分配ノ如ク申シテ居リマスルヤウナ、斯ウシタ欺瞞的ナ法案ニ對シテハ、我々ハ絕對ニ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、斯ウシタ法案ニ依リマシテ、政府ハ資本家階級ヲ脊後カラ掩護シテ居リマス、街頭ニ於キマシテハ現ニ争議ガ起ツテ居リマス、サウシテ無産階級ハ、斯ウシタ政府カラト資本家カラトノ挾撃ヲ受ケテ、今ヤ血ハ斯ウシタ反動の内閣ニ對スルニ反對スルト同時ニ、サウシタ法案ヲ葬ルモノデアリマス

○議員(山崎猛君) 是ニテ討論ハ、終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、先ヅ戦時補償特別措置法案、金融機關再建整備法案、特別和議法案、大藏省預金部等損失特別處理法案、厚生年金保險法及び船員保險法特例案、企業再建整備法案ノ六案ヲ一括シテ採決致シマス、六案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求めマス

○議員(山崎猛君) 起立多數、仍テ六案ハ原案ノ通り決シマシタ(拍手) 次ニ財産稅法案、財産稅等收入金特別會計法案ノ兩案ヲ一括シテ採決致シマス、兩案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求めマス

○議員(山崎猛君) 起立多數、仍テ兩案ハ原案ノ通り決シマシタ(拍手) 次ニ企業整備資金措置法を廢止する等の法律案ニ付キ採決致シマス、本案

○議員(山崎猛君) 起立多數、仍テ兩案ハ原案ノ通り決シマシタ(拍手) 次ニ企業整備資金措置法を廢止する等の法律案ニ付キ採決致シマス、本案

○議員(山崎猛君) 起立多數、仍テ兩案ハ原案ノ通り決シマシタ(拍手) 次ニ企業整備資金措置法を廢止する等の法律案ニ付キ採決致シマス、本案

○議員(山崎猛君) 起立多數、仍テ兩案ハ原案ノ通り決シマシタ(拍手) 次ニ企業整備資金措置法を廢止する等の法律案ニ付キ採決致シマス、本案

ノ委員長報告ハ修正デアリマス、本案ハ委員長ノ報告通り決スルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○議長(山崎猛君) 起立多數、仍テ本案ハ委員長報告通り決シマシタ、是ニテ九案ノ第二讀會ハ終了致シマシタ

○山口喜久一郎君 直チニ九案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(山崎猛君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(山崎猛君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ九案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

戰時補償特別措置法案 第三讀會

金融機關再建整備法案 第三讀會

特別和議法案 第三讀會

大藏省預金部等損失特別處理法案 第三讀會

厚生年金保險法及び船員保險法特例案 第三讀會

企業再建整備法案 第三讀會

財産稅法案 第三讀會

財産稅等收入金特別會計法案 第三讀會

企業整備資金措置法を廢止する等の法律案 第三讀會

○議長(山崎猛君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、九案トモ第二讀會議決ノ通り確定致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ終了致シマシタ、明七日ハ會期終了日デアリマスガ、定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス

午後三時四十七分散會

定價 一部 七十錢

發行所 東京都牛込區市ヶ谷本村町
電話九段五三一〇〇
振替東京一九〇〇〇書課